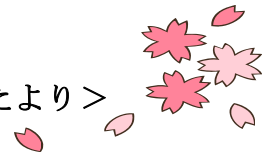


大事協だより

大島地区公立小・中学校事務職員協会 研修部
第28号 2010年2月24日発行

<各地区からのたより>



今年度最後の発行となりました。2009.7からの25号、26号、27号、そして今回の28号と4回の発行でした。

今回の原稿を読むと、年度末・始めを控えて感じる心の慌ただしさに、力をもらう感じがします。皆さんの大事協だよりです。お互いの「現在」をこれからも、知らせていただければと思います。



龍郷町の緋寒桜もメジロの歌声と共に綺麗な姿を見せてくれていました。

<第3回大島地区公立小中学校事務職員協会執行部会>

2月3日(水)に開催されました。内容は、執行部・専門部の活動経過報告や県事協評議員会報告、今後の活動計画についてでした。3月5日(金)には第3回大島地区公立小中学校事務職員協会理事会が開催予定です。協議後、各市町村代表者から、後日報告があると思いますので、御確認ください。疑問に感じられたことについては、執行部へ問い合わせてください。

<諸手当認定・電算マニュアル(R3)等の印刷販売>

諸手当認定・電算マニュアル(R3)等の印刷販売については公用購入希望が多く寄せられました。今月末を目途に各学校へ配付終了予定です。

<地区研修会アンケート>

第2回地区事務職員研修会アンケートへの御協力もありがとうございました。集約結果は2月初旬に市町村代表者へ配布依頼をしました。事務所への報告も済ませました。

今後とも、よりよい研修会運営のため御協力をお願いします。



<泉会長より一言>

暖冬という長期予報が外れたのか、寒い日が続いていますが、会員の皆さんいかがお過ごしでしょうか?

さて、執行部5人中4人も入れ替わるといって大異動があった2009年度も会員の皆さんの協力のおかげでなんとか年度末を迎えることが出来ました。ありがとうございます。

2008度から始めた「大事協だより」の担当町村、持ち回りの編集作業もうまく起動しているようです。各市町村の年間の研究成果なども研修部へ寄せていただければありがたいです。設立理念の大きな部分を担う「大事協だより」です。今後とも、皆さんの協力、よろしく願います。

また、総会資料に載せてあります「各市町村の研修計画書」もお互いの研修の情報資料として活用していただければと思います。年度末、身体に気をつけて頑張りましょう。

今回の原稿は①徳之島町、②喜界町、③与論町、④瀬戸内町から届きました。ありがとうございました。次号は、来年度6月発行予定です。

①徳之島町事務職員会

尾母小学校 下川正綱

大島地区事務職員の皆様、南国とはいえ、寒い日が続くようになりました。お身体等、崩していらっしゃいませんか。

徳之島町事務職員部会は男性5名、女性5名で活動しています。ガジュマルが好きな牧先生、意外に子煩悩な平田先生、副会長として補佐して頂いている城森先生、最近三味線がタンスの肥やしになりつつある徳田先生、「徳之島の母」こと比嘉先生、自称元女子アナウンサーの仲先生、2年目なのに頭のいい白石先生、未成年はお酒を飲んではいけませんの柚木先生、意外に事務職員がさまになっているかもしれない小田先生と、特に普通の私の10名です。

さて、私たち徳之島町事務職員部会の研修の内容ですが、認定事務関係、旅費請求・教職員の福利厚生などの事例、個人発表等を行っています。徳之島町は比較的若い先生の多く、様々な事例をベテランの先生の助言をいただきながら、研修会を進めております。

認定事務に関する研修会を4月に2回、6月に1回(児童手当関係)、それから今後、3月に児童手当・扶養手当に関する研修会を開く予定です。会議室に10名集まる研修会、北ブロック(5名)と南ブロック(5名)で集まる研修会の2つのパターンがあり、共同実施も念頭におきながら活動しております。

徳之島町の事務職員会の特徴は活発な議論であると思います。時に今年採用の事務職員には分からないだろうと思われる話が延々続くこともあるのですが、そうした活発な議論が自分を含めた若手事務職員の成長につながると思っています。



②喜界町事務職員会

湾小学校 白川 誠一

まず喜界島の紹介を簡単に。今でも毎年2mmずつ隆起している世界的にも有名な隆起珊瑚礁の島です。広さは車でのおんびり1周1時間ほど。一番高いところで200mちょっと。眺めは最高です。印象的な風景は夏。真っ青な空の下、藍とエメラルドグリーンがグラデーションを描く海。台地一面に波打つ

サトウキビ畑。美しさと力強さが同居するのが魅力です。喜界島といえはなんとと言っても7月22日。皆既日食が一般の有人島では唯一見られたという超ラッキーなところで。今思い出しても、紫ピンクのダイヤモンドリングとコロナが取り巻く皆既中の太陽は、その美しさと神秘的な光景から異様な興奮を呼び起こされ、自然と涙があふれてくるほどの感動を覚えました。今この時、この島にいて本当によかったと思いました。信じられないことにこの日の朝と皆既日食終了約15分後は土砂降りだったんですよ。まさに超ラッキー、喜びの島（輪舞輪舞!!）。

さて、喜界町では'08、'09年度に一部で共同実施の研究指定があり、ここ2年間、大事協だよりでの喜界町の紹介はその取組について書きました。今回はダイヤモンドリングの輝きを纏うこととなった喜界町小・中学校事務職員会について紹介します。

喜界町には小学校9校、中学校3校があり、事務職員は10名です。町事務職員研修会は臨時会も含めて13回を計画、実施しています。特に本年度は共同実施を意識して「相互支援組織の確立と情報の共有化」という年間テーマのもとに、昨年度まで14:00～16:45開催だった研修会も原則10:00～16:45と開始時刻を早めて開催しています。町内を2ブロックに分け、ブロック研修もこの中で行っています。主な研修内容は、その時々事務手続きの事例研修をはじめ、年5回の『じむだより』の発行、事務職員間の相互支援として諸手当認定相互審査、パソコン研修の実施、新採支援のためのマニュアル冊子『はじめの一步』の改訂編集などを行っています。共有フォルダやメールを利用した情報の共有化も図っています。また事務職員未配置校への組織的な支援のあり方などについても研究・実践をしています。毎年10月には2日間の管外研修視察も実施しており、新採も多い本事務職員会にとって知識、見聞を広げる貴重な機会となっています。本年度3名の新採が加わったことと10名という動きやすい人数から、やわらかい感じの雰囲気です。研修会が開かれています。現在は共同実施への準備期間としての意識もあり、真剣そのもので議論することもあります。経験年数が少ないメンバーもフルで活動しており、皆いい感じで鍛えられていいです。

そしてなんと今年度、このメンバーから1組のカップルが誕生、ご結婚されるという大変おめでたい出来事がありました。これも1つの相互支援か共同実施なのか？まあ、まわりのメンバーも温かい雰囲気に包まれて幸せな喜界町事務職員会今日この頃なのです。

皆さんよかったですら、超ラッキーな出来事も体験でき（るかもしれない）て、結婚もできる（かもしれない）喜界島へいらっしやいませんか？なかなか遊びに来れない方は「喜びの島」喜界島の方を向いて拝んだり、祈ったりするだけでもいいことがあるかもしれませんよ。



坂嶺小学校 徳 哲也先生 撮影

③与論町事務職員会

報告1 「管外研修視察」

与論町立与論小学校 樋木康紘

与論町事務職員部会は、3小学校1中学校の事務職員4名で活動しています。今年度は事務室機能を充実させるため、学校間の連携を強化することをテーマに取り組んでいます。月に1度、定例の研修会を開き、町費事務や県費事務、福利厚生事務などについてお互いの作業を確認し合っています。私自身は、町への予算要求書に関してアドバイスをいただいたり、日常の業務に関する疑問点を解消していただいたりするなどこの会を通して先輩方からたくさんのことを学ばせていただいています。

7月には、部会の管外研修視察として、沖縄県名護市立久辺小学校と大宜味村立津波小学校を訪問させていただきました。両校で①市・村費学校予算の執行、②他校との事務支援体制のあり方、③学校施設見学、④情報意見交換について研修を行わせていただき、参考になる意見をたくさん頂きました。

どちらの学校にも、他校の事務職員が5名ほど集まってくださり、より充実した研修にすることができました。私はこの視察を終えて、「事務職員」という仕事に対する自分の視野が広がったように感じています。それぞれの先生方の仕事に対する姿勢や取り組み方に触れ、今後の指針を示していただいたように思います。

これからも4名、互いに協力し合い正確で効率的な事務処理のために努めていきたいと思っています。



報告2 「各学校間の事務の統一化について」

与論町立与論中学校 和田 賢

事務職研修会の追加目標として、今年度後半から新たに「各学校間の事務の統一化について」取り組みを進めている。何故「事務の統一化」を掲げたかと言えば、まず大島地区が新採や期限付きの事務職員が配属されることが多く、その為、転出された事務職員に様々な

負担が大きくなるため、事務の統一化を図ることで、その学校独自の案件以外は事務職研修会で対応できるようになること、次に、事務の統一化による各種事務作業の相互点検のやりやすさを図ることも目的としている。

もっとも、「事務の統一化」を図ると言っても事務作業のやり方は千差万別であり、それを他者のやり方にあわせるというのは、中々難しい物であることは否めない。その為、現時点で執り行っていることは、各学校間での事務作業の見学（書類作成やファイリング等）をすることで、実際にその学校で行われている事務作業の利点や問題点を明らかにした上で、最適化に導こうとしているところである。

事務職員は、縁の下を支える存在であり、そこが駄目であると学校現場に多大なる悪影響を与える仕事である。だからこそ、学校にいる誰もが安心できるよう、これからも研鑽に努めていきたいと思う。



<新規採用者の声>

1年という時間が短いのか長いのか、その中で感じた声からは日々の積み重ねが大きな力になることを予感させてくれているようです。

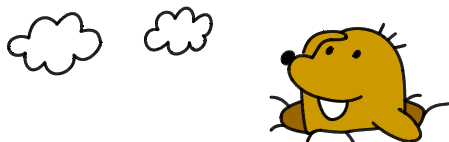
喜界町立早町中学校 林 美里

事務職員として早町小に赴任してから早いものでもう半年以上が過ぎました。4月当初は全く訳の分からない事務処理ばかりで、あっという間に時間が過ぎていきました。今、ようやく少しずつ意味が理解できるようになってきました。これも事務職員の先輩方が電話や直接足を運んでゼロから教えてくださったからです。

また、失敗も数え切れないほどしましたが、周りの先生方のフォローでなんとか乗り越えることができました。私は数多くの先生方に支えられていることに大変感謝しています。本当に有り難いです。

学校生活にも慣れてきて、休み時間には子ども達と元気いっぱい校庭を走り回っています。「先生、遊ぼう。」と笑顔で声をかけてくれる子ども達がとってもかわいいです。裏方ではあるけれど、この子ども達の成長に自分に関わる仕事をさせてもらっていることを大変嬉しく思います。

去年は町内事務職員の中からお結婚というおめでたいことがありました。町内事務職員の運気はきっと上昇中だと思います。この良い運気をいただいて私生活は分からないですが・・・仕事面では大きく成長できる年にしたいです。未熟な私ですが、今後ともよろしくお願いたします。



喜界町立荒木小学校 池田 亜沙美

喜界島に来て10ヶ月が過ぎようとしています。昨年まで「先生」と呼んでいた立場だったのに、今年は「先生」と呼ばれる立場。戸惑いと少しの期待を持ちながらスタートしたのを今でも覚えています。

事務職員になって一番に思うことは、本当にこの職業を選んでよかったなということです。良き職場、良き先生方、良き地域環境に恵まれて本当にラッキーだと思います。「分からないことがあったら何でも聞くのが当たり前」と周りの先生方から優しくアドバイスしていただき、小さなことでも一から丁寧に教えてもらっています。忙しい時期は同じなのに電話だけでなく、わざわざ荒木小学校まで足を運んで下さる姿を見て、しっかり学ぼう！！という気持ちでいっぱいです。

久しぶりの小学校での生活で特に驚いたのは、行事の多さです。毎月何かしら行事が入っているので常に季節感を感じることができ、また毎日があっという間に過ぎていきます。生徒の時とはまた違った充実感や達成感を感じることができるのも小規模校ならではのよさだと思います。今は迷惑ばかりかけてしまっていますが、いつかは先輩方のように素敵な事務職員になれるよう日々努力し、多くのことを吸収していきたいと思っています。



喜界町立第二中学校 南 真由美

「ようこそ！ 笑顔咲く第二中学校へ」これは初めてこの事務室に足を踏み入れた瞬間に、目に飛び込んできたメッセージです。私の地元の第二中学校は緑の芝生が敷き詰められた広～い校庭と、東シナ海を一望できる校舎をもつ緑豊かな中学校です。全校生徒は24名の小さな中学校ですが、生徒達は元気で、メッセージどうり笑顔にあふれています。

私は50半ばでこの職に就きました。民間の企業で、利益の追求を目的にスピードと正確さを要求されていた事務とは違い、学校の事務は全ては税金が元になっており、最初は戸惑う事ばかりでした。それでも周りの事務の先生方にこと細かく教えていただき、何とかここまでやってこれました。そして先輩から「そこに子どもがいる限り、私達は事務職員として最善を尽くさなければならない」という理念も教えて頂きました。とても感謝しています。

今喜界島には二つの事務職員の未配置校があります。そこには兼務の先生がいて頑張っているのですが、去年の暮頃から微力ではありますが町費伝票の作成を手伝っています。少しではありますが他の人の役にたてる事がとてもうれしいです。先生方もとても素敵な方ばかりです。私にとっては、息子や娘のような年齢の先生方ですが、魚釣りをしたり、夜は〇み会をしたり

と楽しんでいます。

いずれは、この島を出て行かれる先生方ですが、この島、喜界島でたくさんのいい思い出を作って、喜界島を好きになってもらえれば最高です。我が事務室の窓からは、ガジュマルの葉っぱと青い空が見えています。就業のチャイムとともに子ども達の笑い声が聞こえてきます。静かに流れる時間の中で、自然豊かなこの島を愛し、この島に育った子ども達の為に働く事が出来れば幸いです。そして、子ども達からももらった笑顔を、今度は私が誰かに返したいと思っています。



徳之島町立神之嶺小学校 柚木 まどか

学校事務職員として働き始めてもうすぐ一年が経とうとしています。

社会人としても一年目、一人暮らしも一年目、車の運転もほぼ一年目という、何から何まで一年目づくしの私にとって徳之島での生活というものは、最初不安なことだらけではありましたが、一年も経つとこの生活にもだいぶ慣れてきて、最初の不安だった気持ちも忘れるくらい毎日充実した生活を送らせてもらっています。

仕事の方も当初は学校の生活リズムがわからなかったり、事務処理もあまり意味を理解しないまま書類を提出していましたが、最近では生活リズムもすっかり定着してきましたし、事務処理の意味もわかってきて仕事の要領をつかめるようになってきました。

まだまだ勉強しなければならないことばかりではありますが、今年のような経験をこれからはつなげて先輩方のご指導のもと学校事務職員として学校現場を支えていけるようがんばりたいと思います。

徳之島町立東天城中学校 小田 真沙美

これまでは期限付の養護教諭をさせていただき、事務職員は今回初めての経験です。「今まで事務の先生に何て感謝が足りなかったのだろう」と気付く機会となりました。改めまして・・・これまで本当にありがとうございました。

事務職員のつながりの強さには養護教諭以上のものがあり、まずそのことに驚きました。今思えば、4月のあの大変な時期にこんなしょうもないことを・・・という質問を沢山しました。嫌な顔一つせず丁寧に教えて下さった先輩方、どれだけ心強かったことか、本当にありがとうございました。

子どもとの関わり方は、2学期終わり頃からやりとりが急に増え、だいぶ変わりました。心に余裕を持てなかったこれまでの反省し、子どもの為の学校だという基本的なことを、改めて実感しているところです。

今、毎日がドタバタしています。いつか、スマートに仕事を進めている先輩方のようにになりたい・・・そう思いながら、今年もあっという間に過ぎてしまうことでしょう。

来年の今頃「私は頑張った!」と言い切れるよう、精進させていただきたいと思います・・・。

先輩方、これからも頼りにしています。よろしくお願いたします (>_<)

瀬戸内町立池知小学校 徳田 亜鶴沙

年間12回の事務職員会もあと1回となりました。時が経つのは速いものです。

事務職員として働くことになった4月、学校の様子にとまどい、事務の仕事内容にとまどい、1日の流れをつかむのに必死でした。ほとんど年度初めの記憶はなく、何をして過ごしていたのか不思議なくらいです。

そんな私を助けてくださったのが、先輩事務職員の先生方でした。私以外は全員ベテランの先生なので、いろいろなことを教えていただきました。しかし、何も分からなかった私はさっぱり意味が分からず、同じことを何度も尋ねてしまいました。

そんな私に、「自分も同じだったから」とおっしゃって繰り返し教えてくれた先生、分からないことを分かりやすく教えてくれた先生、長年の経験を生かし鋭く指摘された先生、私の周りは頼もしい先生ばかりでした。少しずつでも近づけるように頑張っていきたいです。残すところ後1ヶ月となりました。

一年間の締めくくりです。今までやってきたことを無駄にせず、今後に生かしていきたいと思っています。

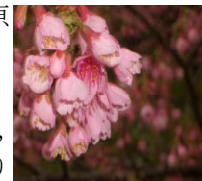


○大事協は次のような意義のもと設立・活動しています○
＜協会設立の基本理念に則り、
更なる発展を目指して活動する。＞

- ①大島地区小・中学校事務職員全員参加の「輪(わ)」を目標とする。
- ②本会は、地区内の緩やかな繋がり親睦・融和・資質向上を目指す。
- ③大島地区内における情報交換の場とする。
- ④実務研修の充実を図る。

○編集後記○

今年度最後の号は、徳之島町が中心になって原稿の集約・編集をしてくださりました。次号は、6月発行予定です。編集担当市町村は天城町、原稿提出市町村は知名町、天城町、瀬戸内町になっていますので御協力よろしくお願いします。また、個人で写真、趣味等、紹介したいことなどありましたら、原稿を下記までお寄せください。



地区内の緩やかな繋がり場の場として、情報交換の場としてこの大事協だよりを活用してくださると幸いです。

tatusesyoun@po.12.synapse.ne.jp

